

週間漁海況情報—第6号

平成27年2月9日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

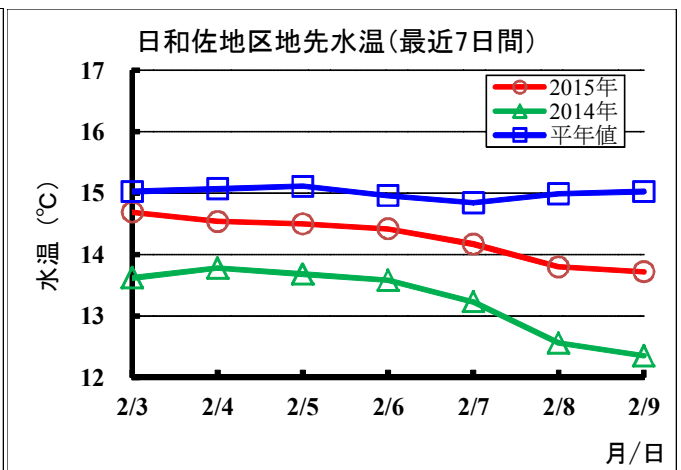
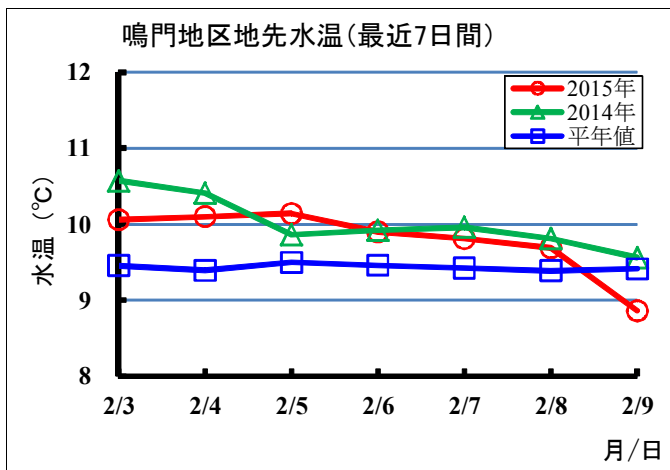
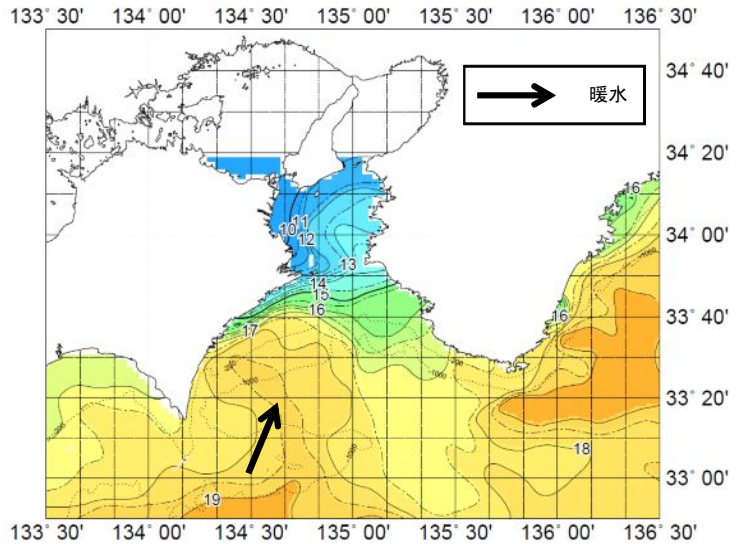
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.2.9）を示した。

黒潮までの距離は、室戸岬沖で50マイル、潮岬沖で60マイル離れており、かなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は19℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道では9～13℃台、海部沿岸は12～17℃台である。紀伊水道外域では室戸岬の東側から暖水の流入がある。



地先水温： 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の8.9～10.1℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の13.7～14.7℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の12.9～14.9℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にサバフグが0.6トン（1日1隻あたり31kg）、大主体にキダイが0.3トン（同14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカタクチイワシが0.5トン（同16kg）、アオリイカが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマメ主体にマアジが0.3トン（同51kg）、小主体にさば類が0.3トン（同45kg）、カタクチイワシ主体にいわし類が0.3トン（同51kg）、中主体にスルメイカが0.6トン（同96kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で特大・大主体にマサバが0.2トン（同15kg）、大主体にゴマサバが0.4トン（同32kg）、メジロが0.2トン（同6kg）、ブリが0.3トン（同15kg）、大・中主体にサワラが0.3トン（同68kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2015年2月2日～2015年2月9日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	19	584	31	大主体
		キダイ	23	312	14	大主体
小型定置網		カタクチイワシ	31	490	16	
		アオリイカ	70	272	4	
大型定置網		マアジ	6	306	51	マメ主体
		さば類	6	270	45	小主体
		いわし類	6	306	51	カタクチイワシ主体
		スルメイカ	6	576	96	中主体
釣り		マサバ	14	207	15	特大・大主体
		ゴマサバ	13	414	32	大主体
	メジロ	39	244	6		
	ブリ	18	263	15		
	サワラ	5	341	68	大・中主体	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年2月3日～2月9日には、海部沿岸で、延縄でカワハギが0.3トン、建網で中主体にヒラメが0.6トン、小型定置網でカタクチイワシが0.5トン、アオリイカが0.2トン、大型定置網で小主体にマアジが0.6トン、メジロが1.8トン、中主体にスルメイカが0.4トン、釣りで大主体にタチウオが0.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「かなり離岸」、潮岬沖において「かなり離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の13～14℃台で推移する見込み。